

第12回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日時：平成15年1月21日（火） 午後7時00分～9時15分
2. 会場：都庁第一庁舎5階 大会議場
3. 出席者：29名

関係者（敬称略）

須山 直哉（練馬）、武田 佳登（練馬）、湯山 茂（練馬）、宿澤 藤子（杉並）
 本橋 又藏（杉並）、濱本 勇三（武蔵野）、村田 あが（武蔵野）、川瀬 春吉（三鷹）
 新 守一（三鷹）、米津 鐵雄（三鷹）、川原 主計（調布）、小林 充夫（調布）
 渡辺 俊明（調布）、石井 一成（狛江）、橋本 妙子（狛江）、秋山 光男（世田谷）
 江崎美枝子（世田谷）、栗林 勝彦（世田谷）

地元自治体

水上 英昭（練馬区部長）、倉田 征壽（杉並区部長）、伊藤 隆造（武蔵野市部長）
 柴田 直樹（三鷹市部長）、新谷 景一（調布市部長）、大貫 浩司（狛江市部長）
 栗下 孝（世田谷区部長）

国土交通省・東京都

大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官）、伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）
 成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長）、宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約100名
5. 概要：

【主な意見】

- ・国や都の方針は、まず、この協議会の場で公表すべき。本日「緊急アピール」を両局長に渡す。
- ・「大深度」報道に関しては、住民に誤解を与えないように配慮すべきであった。
- ・知事は凍結解除と発言しているが、大臣はそう言っていない。
- ・外環に関するアンケートは、情報が全て揃った上で行うべき。
- ・インターチェンジについては、それぞれが良い方向は何か議論すべき。
- ・インターチェンジの議論は、外環がつくるとなってから行うべき。
- ・テーマ毎に議論する時間を決めるべき。
- ・4つのテーマを一通り、行ったらどうか。

【確認事項】

- ・運営懇談会の提案は了承。
- ・次回は、昭和41年都市計画決定の経緯について議論する。